

令和 6 年度木更津市社会教育委員会議第 1 回定例会 会議録

1 会議名 令和 6 年度木更津市社会教育委員会議第 1 回定例会

2 開催日時 令和 6 年 5 月 1 3 日（月）午前 1 0 時～1 2 時

3 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室 A 1 ・ A 2

4 出席者名

委員：吉田信明、古川哲也、水島享子、川名達也、佐久間智之、鶴岡久美子、
千代倉順、伊藤素子、鎌田節子、地曳昭裕、内田慎一郎、三好主晃、
白石和義（1 3 名）

事務局：廣部昌弘教育長、小高幸男教育部長、亀田聡史教育部次長兼教育総務課長、
水越学教育部次長兼文化課長、石川美智子係長、堀田かおり係長（6 名）

協議事項（2）説明のため出席

難波秀和まなび支援センター所長、北村晴美図書館長、
松本明子郷土博物館金のすず副館長、山下理中央公民館長

5. 協議事項

（1）各委員の選出について

（2）令和 6 年度社会教育・生涯学習関係重点目標及び主要事業について

（3）その他

6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人 1 名

7 資 料

令和 6 年度社会教育委員会議第 1 回定例会次第

令和 6 年度社会教育委員会議第 1 回定例会資料

8 会議の内容

事務局 ただいまより令和6年度木更津市社会教育委員会会議第1回定例会を開催いたします。本日は委員18人中13名の出席であり、欠席者は5名であります。従いまして、社会教育委員会会議運営規則第三条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございまして、会議は成立しております。なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人は1名です。

初めに白石議長からご挨拶をお願いいたします。

白石議長 おはようございます。昨年度は、公民館コミュニティ化や吾妻公園の複合化施設について等、色々な議論がありました。今年度も、また協議したいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

今年度はまだ任期の途中という事もあり、概ね昨年度と同じメンバーで運営することになりそうです。またコロナも落ち着いてきたので、今年度は、外に出て会議等、色々な体験をしていきたいと個人的には思っております。有意義な会議ができますよう、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。続きまして、廣部教育長よりご挨拶を申し上げます。

廣部教育長 皆さんこんにちは。今日は大変天気が悪く足元も悪い月曜日の午前というコンディションの中をお集まりいただきまして、ありがとうございます。

ただいま白石議長からもございましたけども、昨年度末は公民館のコミュニティセンター化ということで建議書をいただき、教育委員会会議にて受けさせていただきました。私自身、こちらの建議書はもちろん、公民館運営審議会の意見書なども拝見いたしました。現在、木更津市の地域が抱えている課題というのは、大きく言えば地域の活性化と、互助の意識を、さらに醸成していきたいということだと思っています。最近の報道で、私が最も危惧しているのは、2050年に日本人口の45%が一人暮らしになるというニュースです。木更津市も自治会加入率が60パーセントを切り、木更津市だけではないのかもしれませんが、地域のつながりが希薄になっているのを感じます。公民館の稼働率が下がってきているのは、公民館の事業云々という問題ではなく、単純に公民館を利用している方々の人口が減っているということではないかなと、私は考えています。

3月に話をさせてもらいましたとおり、公民館とコミュニティセンター化については二者択一ではなく、現在公民館でできていることは継続し、市民課の出張所業務も含めて、生涯学習の講座やサークル、家庭教育学級や文化祭等、様々な事業を全てやっていきます。その上で、更に地域の繋がりのために、教育機関としての縛りをなくします。もちろん直営でやっていきたいと、市長も私も同じ考えを持っています。ぜひ全国に発信できる新しい地域づくりの拠点として、いただいた建議書を参考にさせていただきながら、現在検討を進めているところでございます。やはり市役所の10部・1室を束ねる市長がトップとなり、教育委員会は学校教育、社会教育、生涯学習の部分を担当していくという考え方の方が、地域の活性化のためには、大きく力になる

のではないかと考えております。週末の新千葉新聞に、高齢者福祉課主催の各公民館の高齢者の方々向けの体操のイベントの記事が載りました。もしこの事業を今の公民館が行うと、全て教育部内で決裁を行い事業を行うということになりますが、市長がトップになると今よりも、市役所と地域のパイプが太くなると考えておりますし、そうして行かなくてはいけないとも考えております。ぜひ、委員の皆様方にも、各地域でもし住民の皆様に関われたときや、様々な会合での会話の中で機会がありましたら、教育長がこんなことを言っていたよとお話していただければ大変ありがたいと思います。

本日は令和6年度の社会教育生涯学習関係の事業の説明をさせていただきたいと思います。忌憚のないご意見を頂戴して、本市の社会教育、生涯学習の面に生かして参りたいと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

事務局

ありがとうございました。次に、教育委員会事務局の職員を紹介いたします。

職員紹介／自己紹介

続いて、委員の皆様より自己紹介をお願いしたいと思います。

委員自己紹介

今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第二条第4項により、議長をお願いいたします。それでは白石議長よろしくをお願いいたします。

白石議長

それでは進めさせていただきます。お手元の、第1回定例会資料をご覧ください。協議事項（1）各委員の選出についてですが、社会教育委員に対していろいろな会議の代議員、委員の推薦依頼がきております。例年、任期途中の方はそのまま続けていただいております。それ以外の委員の選任について、事務局に案があれば、お願いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

異議なし

異議がないようですので、事務局よろしくお願いします。

事務局

事務局よりご提案させていただきます。議長よりお話がありましてとおり、各協議会、審議会等の委員の選出につきましては、各協議会・審議会等の任期と社会教育委員会の任期にずれがございます。任期中は同じ方に継続していただくことでご了解をいただいておりますので、次のようをお願いしたいと思います。資料に掲載しております順番にご提案申し上げます。

①千葉県社会教育委員連絡協議会代議員の選出につきましては、慣例により議長にお願いいただいておりますので、白石議長にお願いしたいと思います。任期については、1年間でございます。

②君津地方社会教育委員連絡協議会役員の理事につきましては、任期が令和7年3月31日までとなっておりますので、引き続き白石議長、石村副議長、伊藤副議長、古川委員にお願いしたいと思います。

③木更津市図書館協議会委員につきましては、任期が令和7年6月30日までとなっておりますので、在任期間を引き続き伊藤副議長にお願いしたいと思います。

④木更津市青少年問題協議会委員につきましては、任期が今月で一旦終わり、また新しく、6月1日から令和8年の5月31日までとなっております。引き続き千代倉委員にお願いしたいと思っております。

また、今年度から、⑤木更津市明るい選挙推進協議会委員の選出につきまして、選挙管理委員会から委員の推薦をお願いしたいというお話を受けております。この会議は、木更津市の選挙権者が選挙に際し、みずから自由に表明する意思によって、明るく正しい選挙権の行使が行えるよう、かつ、これに必要な社会的運動を積極的に推進し、もって民主政治の健全な発展に寄与することを目的としているものでございます。推薦につきましては、鎌田委員にお願いしたいと思っております。任期は令和6年6月1日から令和8年5月31日までとなっております。

白石議長

ありがとうございました。事務局より提案がありました。それぞれの委員について、皆様にお諮りしたいと思います。いかがでしょうか。

異議なし

ありがとうございます。それでは継続される委員の皆様、また新たに木更津市明るい選挙推進協議会委員になりました鎌田委員、よろしく願いいたします。

続きまして、協議事項（2）令和6年度社会教育、生涯学習関係重点目標及び主要事業について、各担当課より説明をお願いいたします。

各課長、館長等説明

- ①生涯学習課 ②文化課 ③まなび支援センター
④図書館 ⑤金のすず ⑥中央公民館

白石議長

ただいまの説明につきまして、何か確認したいことやご意見、ご質問等ございましたら挙手のうえお願いいたします。

三好委員

生涯学習バスの運行状況についてお伺いします。消滅可能性都市や消滅可能性自治体の話が最近ありますが、過疎化が進んでも、なおバスの運行を確か7分に一本行っているところがあると聞きました。結構厳しいと思っておりますが、むしろ減ってるからこそ増やさないと、結構難しいみたいな話がありまして、木更津市は今後こういった生涯学習バスを含めたバスの運行について、どのような方針でいくのかなと考えておりました。

といいますのも、図書館等の施設では、来館者を増やしていきたいと考えております。しかし一方ではデジタル化を進めることにより、来館できない人たちの利用促進や、施設に興味がない方に興味を持ってもらうための取り組みを行っております。そうすると、統計を取るとおそらく前年度比を出すことは結構難しくなってくるのではないかと思います。木更津市でも、DXにのっとった施策が推進され、デジタル化が進められています。資料のバスの運行状況と、図書館の電子図書サービスの提供数や来館者数を見て、今後をどういったふうに見ていけばよいのか、考えておりました。また、デジタル博物館についても、すぐくすてきな企画だなと思いながら、デジタル博物館の閲覧者数ですとか利用者数も、今後博物館の利用に加えて考えていくのかな

と思いました。

外に出ていく人、出たいけれど出れない人、遠くにいる人等、様々な状況があります。先程、公民館の事業説明でスマートフォンの講座のお話がありましたが、そういった足を運ぶのが難しい人こそ、スマートフォン等を使っていくかと思います。でもその講座に直接行きたいと思った時、例えば最近高齢者の交通事故等もありますし、バスがないとちょっと困ってしまうのではと思います。そうするとバスって今後どうなるのかなと、どういった方針になってくのかなと伺えればと思います。

事務局

生涯学習バスにつきましては動く教室ということで、公民館等の主催事業やサークルの学びの場として、移動研修等に使用していただいているものでございます。デジタル化が今進行している最中ではございますが、現場に行ってみないとわからないこともありますし、そこで新しい発見などもありますので、使える内容や距離等に制限はございますが、学習の機会として提供を続けていきたいと考えているところでございます。公民館の主催事業等で使っていただくバスにつきましては、各公民館に皆さんに集まっていただいて、そこからバスで移動するという形になりますので、公民館までその参加者の人には来ていただいて、そこから移動という形で運用していただいております。

三好委員

もう1点、こちらは意見です。きさらづ出前講座についてです。チラシに「講座ナンバーに色が付いている講座は、新規または変更があった講座」との表記がありますが、ちょっとどれが新規だったかがわかりづらかったので、網掛け等すると見やすかったのかなと思いました。

内田委員

質問です。先日、君津地方社会教育委員連絡協議会の総会があり、白石議長と私が出席してまいりました。その中で、各市で生涯学習に関する事業について、どういうことを行っているかという情報交換がありました。4市の中で、袖ケ浦市では生涯学習フェスティバル等々をやっているということを、その際にお聞きいたしました。

当市では以前、生涯学習フェスティバルという形で、生涯学習を行っている各団体が、それぞれ発表等色々なものを行っていました。委員の皆さんの中でも、経験なされた方も多分いらっしゃるかと思います。コロナ禍の中でなかなかそういったイベントが出来なかったというのが今までの現状でございました。昨年、新型コロナウイルス感染症が第5類になり、1年が過ぎました。そろそろそういうものも考えてもいいのではと思います、今日の資料を見て、何かそういった事業が出てくるのではとちょっと期待しておりました。コロナ禍の中で「つながるフェス」をやっていましたよね。そういったものでも結構だと思うんです。社会教育委員の皆さんとこういった会議でしか、なかなか話し合いの場が持てない状況が、最近続いていると思います。例えば生涯学習フェスティバルや4市の研修会、昨日行った総会、色々な県の生涯学習振興大会、関東ブロックの生涯学習大会、全国の大会もあります。4年後には、千葉県で関東ブロックの全国大会があるということも聞きました。今の委員の方で、4年後にまだ残ってる方も当然いらっしゃると思いますので、色々な場面に積極的に出ていっ

て、社会教育委員としての立場や、或いは今後自分はこういったことをやっていこうと考えるのは、こういった社会教育委員会議に出席するだけでは、なかなかできないのではと思っています。そこで要望ですけれども、同じようなタイプじゃなくても構わないので、生涯学習あるいは社会教育に関わる方々が、1年に一度集まる生涯学習フェスティバルのようなものを、今後ぜひ考えていただければと思います。要望でございますのでちょっとその辺、お含みおきいただければありがたいです。

白石議長

内田委員、ありがとうございます。生涯学習課で以前開催していた生涯学習フェスティバルのような事業を、また復活できないかという要望ということでよろしいでしょうか。

内田委員

はい。

千代倉委員

文化課か中央公民館の管轄になると思うのですが、今現在、公民館を利用されている方は、高齢者が多いのではないかと思います。そういう人たちの年齢構成や、どの年代の層がどれくらい使ってるのかといった調査結果等はあるのでしょうか。いきなりのお話しなのですぐには出てこないと思うのですが、どこかのタイミングでちょっと調べていただければと思います。

なぜかと申しますと、例えば、今公民館を活用するメインの年齢層が80歳ぐらいだとすると、5年後その人たちは大分、活用できなくなるかと思います。ですので、今どうのこうのではなく、5年後10年後を考えたときに、より多くの人たち、次の世代、その次の世代も利用してもらうような施策、そういうものも必要なのではと思うからです。今年の5月に千葉県美術会の総会がありました。そこで、会員が亡くなったり、申し出があったり、施設に入ったり等でそういう活動ができなくなった方が、90名程いたんですね。千葉県美術会というのは、県展で受賞しないと入れないもので、去年、美術会に新規に入会できる資格を持った人は75人でした。以前は基本的に辞める人はあまりいなかったのですが、今年はとても辞める人が多く、コロナ禍をはさんで県展等も出品者が少なくなったりしています。もしかしたら公民館の利用者も、昔は元気なおじいちゃんやおばあちゃんが集まっているような感じがあったのですが、今は以前よりもスムーズに借りられるようになっていないかと思っています。それが5年後になったらもっと利用者が少なくなるのではないかと懸念しています。今管理職の方も、5年後ぐらいにはもう退職して時間ができたので、公民館を利用したいなと思った時に、スッと利用できるような、そういうような施策が今あるのかなと疑問がありましたので、お答えいただければなと思います。

中央公民館長

公民館利用者の年代の調査ですが、各公民館で定期的に利用しているサークル団体については、年度の初めに実態調査というのを書いていただいております。その中に構成員の年代の記入欄がございますので、それを抽出してお答えできますので、お調べしたいと思います。

千代倉委員

追加でお願いしたいのですが、5年前までの推移が分かると、今後の5年間もイメージしやすいかと思います。

地曳委員 二十歳を祝う会について要望です。成人が18歳に引き下げられました。私たちが若いころは、成人の日は二十歳になった時でした。世の中的にも青年の主張等の番組もあったりして、世の中で二十歳になるというのが成人だということに、社会的に非常に大きな流れがあったかと思います。ひるがえって今は二十歳を祝う会はあるが、肝心の18歳になった人達の自覚というか、啓発のようなものを促す機会が少ないような気がします。特に選挙です。18歳になって選挙権を得ますが、二十歳を祝う会の時に選挙について周知するところが多いと聞きます。その年齢以下は選挙に関しての啓発が高校任せのところがあって、市で大々的に18歳に対して、啓発活動を行うことが少ないように思います。二十歳を祝う会での周知は大いに結構なのですが、肝心な実際に成人を迎える18歳の時に、何か市の方で啓発するイベントを企画されたら、より成人というか、それ以後の大人としての意識や経験が高まるのではないかと思います。選挙に関しては18歳だけじゃなくて、各年齢とも選挙に関する関心は低いのですが、特に18歳以降ずっとやっていけばいいなと思っています。

もう1点は、LINEについてです。LINEは非常に便利なツールですが、皆さんご存知かとは思いますが、韓国資本でサーバーとか色々な管理は外国任せとなっています。報道等で、個人情報非常に抜かれやすい等の危惧が言われておりますので、確かに便利ではあるけれど、その危険性や個人情報の取り扱いについても出前講座で指導をするような講座があればという要望です。

白石議長 ありがとうございます。18歳成人の方々への啓発活動については少ないと思うので、市でも啓発活動をお願いできればと思います。またLINEの方も、新聞等で結構騒がれておりますので、こちらでも啓発活動をしていただければと思います。

鎌田委員 社会教育を担っている現場の方たちの現状について質問です。教育委員会の社会教育畑では、学芸員や司書、社会教育主事等いらっしゃると思うのですが、今年度の人事異動でどのぐらいの増減があったのか教えていただきたいと思います。

教育部次長 役職定年を迎えて、専門職でいわゆる定年になった方が、何人かいらっしゃいます。先程中央公民館長が話していましたが、以前は現場である公民館にも、専門職は配置されていたのですが、現在は非常に現役の専門職が減ったというのが現実です。学芸員につきましても、役職定年等で減っておりますが、これに関しては今学芸員を募集しておりまして、7月より募集を開始する予定でございます。あと司書に関しまして、やはり役職定年を繰り返しております。また再任用という形で入ってはいるのですが、総じて若い職員がいなくなっているというのは、隠せない現実です。ベテランといえバベテランですけども、教育委員会としても、どこかで専門職として取っていくべきなのか、それとも一般行政の中で、資格を持った方を採用して、積極的に取り入れていくかということは、今後考えていかなければいけないことだと考えております。

鎌田委員 職員体制は、昨年度もこの会議で色々と審議させていただいた吾妻の複合施設を、直営か委託にするかということにも、とても関連してくることだと思っています。専門職

である方も多くいらっしゃるのでは、おわかりになるかと思うのですが、有資格者を採用したからといって、すぐにベテランのように動けないですね。図書館にしる、郷土博物館にしる、その地域の特色があるわけで、有資格者を雇ったとしてもすぐには動けないかと思います。吾妻の施設を充実させて、直営での運営を市の方で考えているのであれば、今から人員の補充というものを念頭に考えて、色々なことや事業をやっていく必要があるかと思います。来年度の採用に向けて、学芸員はこの7月に募集があるということですが、市がどのような施設を吾妻に建設したいのか、どういう施設として運営していきたいのかをしっかりと方針として持って、人事採用とかも考えていただければと思います。

白石議長 ありがとうございます。要望ということで、吾妻公園の中の公民館、図書館等の、人の配置等の事前準備をして欲しいということでよろしいですね。

伊藤副議長 先ほどさとやまアドベンチャーの日程が、9月の最後の土曜日に決まったというお話がありました。その他に、将棋の大会が9月の土曜日に検討されており、木更津第一小学校のPTA主催のふれあいフェスタも9月の終わりに予定していると聞いています。どうしてもその時期に、子どもが楽しむものが重なっていることがちょっと気になっています。私は木更津こどもまつりの事務局をやっており、11月の第3土曜日に毎年開催しているのですが、どうしても同じ日に他の事業やイベントがかぶってくる可能性があるというのが、いつも気になっています。木更津市内全員に楽しんでもらいたいと思う主催者側の気持ちと、どうしてもそこがうまくいかないなあというところがあって、特に生涯学習課の主催する事業は教育部と近いところがあるかと思うので、何かその辺りをちょっと気にしていただけると、子どもたちはみんな嬉しいのではと思います。

白石議長 ありがとうございます。意見要望ということで、生涯学習課はイベント等も、把握できていると思います。その辺はいかがでしょうか。

事務局 生涯学習課といたしましても、やはり多くの人に参加していただきたいと思っております。今回のさとやまアドベンチャーについては講師の関係もあり、どうしてもその日付となってしまいました。皆さんに参加していただきたいという思いは持っておりますので、極力イベントが多い時期は外してやっていきたいとは考えております。

水島委員 私は子ども会からの推薦者として、子どもたちにすごく携わらせていただいております。まなび支援センターの年間122件の相談件数がすごく気になります。これがすべて子どもからのSOSまたは保護者からのSOSなののでしょうか。各学校に特別支援学級というものが、ここ数年すごく増えていると聞いています。そういったことと関連があるのかとか、各係や各課の方はすごくすばらしい企画をたくさんやられていて、改めてこんなに参加できるものがあったのだなと思いつつ、ここに参加したくてもできない子がいるんじゃないかとか、ちょっと気にしてしまいました。

まだ義務教育で守られているうちは、助けを求める先生や、地域の方がいますが、自分の意思で、または思いがけず高校に進学できなくて、思春期や青春の時代を学校

にも通えず、社会にも馴染めずというお子さんたちが、木更津市内にたくさんいるんだろうなと思います。そういった子どもたちの、居場所があるといいなあと思いながら拝見させていただきました。

まなび支援 センター所長 122 件のうち、お父さんからの相談が 11 件、お母さんからの相談が 91 件、おじいちゃんおばあちゃんからの相談が 6 件で、小中高校生を含む青少年本人からの相談が 9 件となっております。その青少年本人からの相談 9 件のうち、本人が抱えてる特性の相談や本人からの相談は高校生ぐらいのお子さんからの連絡が多くなっています。

特別支援関係のお子さん、親御さんからの相談として、その学校に馴染めないとか、自分の子には特性があるんじゃないかというようなお電話もいただくことがあります。その際には、こども発達支援課や、医療機関・教育相談等を紹介し、対応しているところでございます。

水島委員 その子が行き詰まることなく、つなげていける場所がたくさんあるということを知って安心しました。ありがとうございます。

川名委員 袖ヶ浦市の市民会館が昭和交流センターという名前に変わっておりました。木更津市がコミュニティセンター化について色々とお話する中で、袖ヶ浦市が市民会館まで交流センターに変わっていったということで、袖ヶ浦市はどういう判断でどんどん変えていったのか、木更津市はどういう判断で、どこまで変えていくのかが気になりました。

もう 1 つ、博物館で X の配信をされているとおっしゃっていましたが、X で発信することが、市内の小中学生とか高校生も足を運ぶきっかけになればいいなと思い、非常にいい取り組みだと思います。

博物館副館長 ありがとうございます。一番大事なことは、定期的に発信し続けることだと思います。また、表現する内容ですとか、取り扱う内容についても、より市民目線であることが、広く色々な方に来ってもらうために必要だと思います。4 月入ってから桜の時期は、太田山公園は非常に賑わうのですが、その他にも季節的なもの、5 月前後は鯉のぼりを揚げたり、五月人形を飾ったりということで、そのような発信もいたしました。ちょっと目に留めたことや気づいたこと、今の状況をお伝えするような細かな市民目線が、今後に繋がると思っています。身近な博物館になるよう取り組んで参ります。

古川委員 まなび支援センターの重点目標及び推進方策について質問です。「教職員の指導力向上に向けて」という項目があり、「教職員のニーズや今日的な課題に対応した夏季教職員研修を開催します。」とうたっていますが、具体的に何かそういった課題がございましたらお話いただけますでしょうか。

まなび支援 センター所長 今日的な課題として、先ほど話題に上がりましたが、特別支援に関するお子さんにどうやって接したらいいか、性教育をどうやっていったらいいか等、直接教職員に直結する学級経営のアドバイスの内容の講座を、夏休み中に毎年 10 講座を開催させていただいております。

白石議長
事務局

それでは協議事項（３）その他について、事務局の方お願いいたします。

私の方から３点ご報告させていただきます。まず１点目ですが冒頭教育長のお話でもあった、社会教育委員会議で出させていただいた建議についてのご報告です。４月１６日に行われた教育委員会議におきまして、白石議長のお名前で社会教育委員会議の建議を出させていただきましたので、ご報告させていただきます。

続きまして君津地方社会教育委員連絡協議会に関して、２点ご報告させていただきます。４月２２日に第１回正副会長会議が行われまして、白石議長にご参加いただきました。また５月１０日に理事会と総会が行われまして、両方ともに白石議長、総会から内田委員も一緒に参加していただきました。

白石議長

補足です。５月１０日に君津地方社会教育委員連絡協議会総会がありまして、その中で令和６年度の事業計画について日程等が決まりましたので、事前にお知らせしたいと思います。第５９回君津地方社会教育推進大会は、令和７年１月２６日に昨年度と同じ日本製鉄本館のコミュニケーションホールで行います。また君津地方社教連研修が、令和６年９月の下旬に富津公民館で行う予定がありますので、社会教育委員の皆様の日程等調整していただければと思います。よろしくお願いいたします。

教育部次長

先ほど報告をし忘れてしまったのですが、今月の１０日から文化課の市史のデジタルアーカイブの自然編が、市ホームページ上で公開されております。１,０００ページ以上になる資料でございますので、ぜひご覧いただければと思います。

白石議長

それでは、予定された時間になりましたので、協議を終了したいと思います。事務局へお返しします。

事務局

ご意見ご協議ありがとうございました。それではこれをもちまして、令和６年度木更津市社会教育委員会第１回定例会を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。